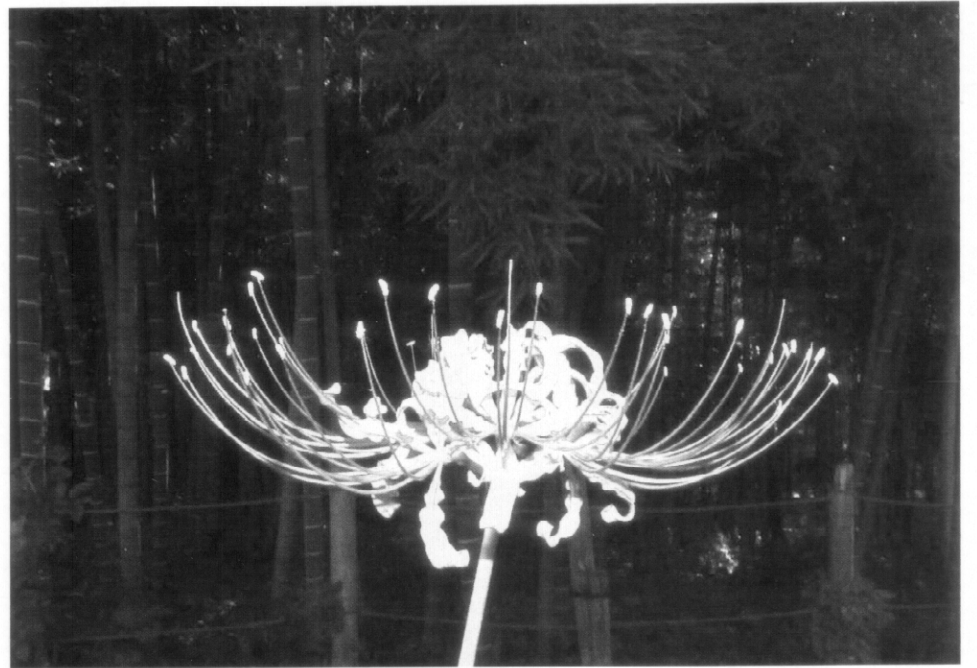


たまいたま 川柳



曼珠沙華

令和3年(2021年)
9月号 (No.742)

日川協加盟

巻頭言

植物への想とシンクロ

人類が百年の生命力を得る時代も、地球年令の四十六億年とよく比較される。その地球に、生命が誕生したのは約三十五億年前で、海で生まれた単細胞生物だそうである。そして約四億年前、海から陸上に進出した植物が森林を作り、以来、様々な生物が誕生した。人類の祖先の出現は、僅か五百万年程前であるとされる。

人類を始め地球上の生物に必要な空気と水と食の源も、大自然の営みによって支えられる。特に食を与えてくれるのは、植物を起点とする生物循環である。植物はまさに、地球上の生命の源である。食の在り様も近代化に向かう。美食の因果から、さまざまな病に苛まれているのが現代人だろう。西洋医学の化学薬品類が強制的に生体組織を弄んでいる。今回の新型コロナウイルス禍もその延長である。

地球環境は益々ハード化や都市化が進む。植物の生存体系は乱れて、純粋植物の収穫は減少に向かっている。一方で、植物を主とする漢方医学が見直されているのも、対比的な知恵であろう。

そんな植物を中心とした自然界を川柳的に見渡せば、豊かな世界が見えてくる。清々しい空気を吸いながら宗教や哲学、歴史や文学などへ興味を向ければ、禁足の窓でさえ明るくなってくれそうだ。

願法みつる

日日是好

生物のさまざまを呑む冷凍庫
マグマとや地雷を抱いた孫悟空
孫子で戦い菜根譚で寝る

人徳へ急がば回る道ばかり
素顔では吐けない空へ隠す嘘

無限の宇宙寝起き半畳

百鬼の夜行菩薩たゆたう

銭の音聴く弁天の島

右に座って人を見下す

貰い泣きしてハラに溜め込む